

2012  
6  
No.133

# 喜多方普及だより

～喜多方からはじめよう 喜び多い福の島～  
県内一丸となった復興活動を！



福島県と県内のテレビ局が共同制作する情報番組「うつくしま情報局」(毎週日曜日9:45～10:00放映)で、喜多方市塩川町の渡部好啓さんが紹介されました。

番組では、県内外の消費者や流通関係者を対象にシンポジウムや現地視察会を開催している「福島県有機農業ネットワーク」の活動や、土づくりによる放射性物質の吸収抑制、さらには販売者と連携して情報発信に取り組んでいる渡部さんが紹介され、ふくしまの農業復興に大きな課題となっている風評被害とどのように向き合うかについて、メッセージが発信されました。

渡部さんは、自家産の牛ふん堆肥をベースに、水稻の特別栽培とアスパラガスなど野菜の有機栽培に取り組んでおり、原発事故後も、堆肥による土づくりに積極的に取り組んでいます。有機野菜の販売では、販売業者の方々にほ場を何度も見て頂き、県が行っている緊急時モニタリング調査の結果を消費者に伝えながら販売して頂いたことにより、ほぼ従来どおりの実績を上げることができました。さらに、今年からは自主検査にも取り組み、より信頼性を高めようとしています。

地域に堆肥などの良質な有機資源がいっぱいあることと、それらを活用した土づくりが放射線対策につながることで、販売前のモニタリング調査や自主検査により、安全性の確認と情報発信を根気強く取り組んでいくことの重要性を訴える渡部さん。締めくくりに、「県内一丸となった復興活動」を強く提唱して頂いた渡部さんのより一層のご活躍を期待いたします。



# ガンバってます！

## 西会津町 こゆりちゃん倶楽部

西会津町では、農林産物の加工を通じて地域産業の6次化を進めようと、年間スケジュールを編成し、これまでに数多くの加工研修会を開催しています。

昨冬、この研修会に参加された有志の方々が加工グループ「こゆりちゃん倶楽部」が結成されました。現在、地元の素材をつかった特産品として、おやき、「こゆりちゃん焼き」の商品化を目指しています。商品化されましたら、是非ともご賞味ください。



## 風評を吹き飛ばせ！地産地消のつどい開催！

### 喜多方の美酒と桜の夕べ



喜多方市では、地域の旬の美味しいものと地場産業の清酒振興を目指して、4月26日、満開間近の桜の下、「道の駅喜多の郷」で大勢の市民の参加を得て、夕べが開催されました。当日は、会津牛や会津地鶏をはじめ、旬の野菜や“会津のかおり”のそばなど、どれもすばらしい味で参加者は舌鼓を打っていました。

当普及所は、県育成新品種の米“天のつぶ”の絶好の機会と捉え、試食品の提供やグッズの配布を通じてPRを実施しました。

今後とも、地産地消を広めながら、風評克服のための活動を支援してまいります。

## 「揚津棚田オーナー制度」3年目開始！ (高郷町揚津地区)

3年目を迎える「揚津棚田オーナー制度」の開始式が、4月29日に揚津集会所前広場で行われました。

今年は定員いっぱいとなる13組の応募があり、開始式には約30名のオーナーが参加しました。栽培品種は、「コシヒカリ」で「会津エコ米」の基準を満たす安全でおいしいコメづくりを目指し、「揚津の父ちゃん」たちの指導のもと、水稻の種まき作業を実施しました。

昼食には、「揚津の母ちゃん」たちが地元野菜や山菜をふんだんに使った料理をふるまい、参加した子ども達もおいしいと頬張っていました。昼食後は、野山を歩き、山菜や沢ガニ採りをして揚津の自然を満喫していました。

今後は、田植えや除草、稲刈り等の農作業と、さなぶり交流会や収穫祭等のイベントと、揚津をまるごと満喫できる内容となっています。



**農作業事故が増えています。余裕をもった作業を心がけましょう！  
農薬使用基準を遵守し、農薬は適正に使用しましょう！**

## 指導農業士さん紹介

指導農業士は、優れた農業経営を通じて農村青少年の育成をするために福島県が認定するものです。平成24年2月に3名の方が認定されました。



### 齋藤澄子さん（喜多方市山都町）

野菜（アスパラガス）を中心とした複合経営を行っています。農業委員も務められ、地域の女性農業者のリーダーとして活躍しています。



### 山口比佐男さん（喜多方市山都町）

野菜（アスパラガス）を中心とした複合経営を行っています。アスパラガスの生産技術では、県内でもトップクラスの実力を持ち、販売高でもJAアスパラ部会で長年トップを維持し、最優秀賞を連続受賞しています。



### 石井親弘さん（北塩原村北山）

野菜（キュウリ）を中心とした複合経営を行っています。キュウリの生産では、品質・販売高ともに優秀な成績を収めており、研修生の受け入れなど、青年農業者の育成も積極的に行っています。

指導農業士として活躍されていた3名の方々が、平成24年3月末で退任されました。

大竹良幸さん（北塩原村北山：平成10年度認定）

蒲生勝仁さん（喜多方市塩川町：平成10年度認定）

和田清枝さん（喜多方市高郷町：平成15年度認定）（平成4年度女性農業士認定）

長い間のご尽力に感謝いたします。今後とも、地域農業の発展にご協力をお願いします。

## 農業短期大学の研修案内のご案内

### ● 就農研修

就農準備「秋」コース

### ● 農産物加工研修

加工初心者基礎 6次化推進（野菜ソース、切り餅保存、商品化など）

### ● 農業機械研修

運転免許取得（トラクタ、けん引） 農業機械技術 農作業安全推進

その他、農業短期大学の施設を借りて研修を行うことも可能です。研修内容の詳細や申し込みは、喜多方農業普及所までお問い合わせください。

**就農相談のお知らせ** 毎日19日は相談日です。農業に興味のある方を待っています。



## ごあいさつ

皆様には、日頃から地域農業の発展に御尽力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、喜多方地域は昨年原発事故に伴い、長年培ってきた会津いいでのブランドが大きく損なわれ、販売に甚大な影響が生じています。消費者ニーズは、放射能に対する安全性が第一であり、消費者との食のリスクコミュニケーションが重要な課題となっています。

こうした中で、消費者の信頼感を回復するためには、生産工程管理としてのGAPへの取り組みやモニタリング検査結果の迅速な伝達等により、喜多方地域には安全な農畜産物が沢山あることを全国へ継続してPRすることが大切です。そして、どんな人がどんな思いで、どんな作り方をしているか発信し続け、消費者の心を動かすことが重要です。

栽培の基本技術は、何といても土づくりの徹底です。深耕や土壌改良剤の施用をはじめ、安全で良質な堆肥を施用することで、放射性物質の吸収抑制を図ることができます。また、多様な需要に対する販売戦略を強化するため、マーケティングチャンネルを多くすることや地産地消で買い支えることも重要であり、販売促進の原点に還り、実需者や消費者のニーズにあった販売戦略を再構築する必要があります。

普及所では、今年度から放射能対策の新たな課題を設定し、「食の安全・安心」を生活者の視点で捉え、これまで以上に関係者の強い信念と知恵を活かして風評対策に取り組んでまいります。そして、皆様とともに地域の力を結集し、「誇りあるふるさとの再生」をめざして、農の営みを復興させる普及指導活動を展開してまいりますので、なお一層の御支援と御協力をお願いいたします。

(所長 佐藤一雄)

## 平成24年度 喜多方農業普及所スタッフ紹介



## 有機農業担当・園芸産地振興担当紹介

会津農林事務所農業振興普及部より、有機農業・園芸産地振興担当も、喜多方におじゃまします。



～ 内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ～

会津農林事務所 喜多方農業普及所

住所 〒966-0901 喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3

電話 0241-24-5743、5745 FAX 24-5746 E-mail kitakata.af04@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ

喜多方農業普及所

検索

